

単元名 混声合唱の深まり【旧】

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 曲想と全体の構成との関わりについての知識や、全体の響きを聴きながら他の声部と合わせて歌う技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。
- (3) 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

12260206_001

【教材名】 時を越えて 旅立ちの日に 大地讃頌 合唱コンクール曲 (下 P. 20～P. 23)

【準備等】 範唱音源、パート練習用音源、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 3年間の集大成として、仲間とともに合唱活動に取り組む。</p> <p>★心に響く合唱をつくりあげよう。</p> <p>○モデル演奏を聴いて、イメージを話し合う。</p> <p>○歌詞の内容を把握し、パートを決めて練習する。</p> <p>2 パート練習で表現を深める。</p> <p>○共鳴を意識して響く声を工夫し、パート練習で表現を深める。</p> <p>★表現を深めよう。</p> <p>○互いに気付いたことを指摘し合い、よりよい合唱表現を追究する。</p> <p>3～4 調和のとれた響きを大切に、合唱表現を工夫する。</p> <p>○声の響きや、ハーモニーを意識して合唱練習する。</p> <p>★響きを大切にして合唱しよう。</p> <p>5～6 表現を深め、全体の響きを味わいながら合唱する。</p> <p>○自分たちの合唱を録音し、それを聴くことで、さらによりよい表現を工夫する。</p> <p>★全体の響きを味わいながら歌おう。</p>	<p>・歌詞の内容をしっかりと理解させ、心に訴える合唱を目指させる。</p> <p>・パート決めは個人の希望を優先させるものの全体のバランスや適正を考慮して教師が助言する。</p> <p>【評】歌詞の内容を十分に理解し、パート練習で歌唱する活動を通して「技能」を評価する</p> <p>・それぞれのパートの役割をしっかりと果たして歌唱できるまで練習させる。</p> <p>・歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫させる。</p> <p>【評】パート練習での歌唱活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・確かな音程をとらせる。</p> <p>・ハーモニーのバランスに気を付けさせる。</p> <p>・姿勢について気を付けさせる。</p> <p>・曲の出だしや山場、また終わり方などは十分に練習させ、仕上げさせる。</p> <p>・歌詞の内容と表現との関わりも留意させる。</p> <p>【評】合唱をつくりあげる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・全員が心をついに、豊かな表現で合唱させる</p> <p>・コンクールや発表を意識した演奏を心がけさせる。</p> <p>【評】より豊かな響きをめざして、合唱する活動を通して「技能」を評価する。</p> <p>【評】曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と旋律のまとまりや、強弱の設定を考慮して表現を工夫させる。

【共通事項】 音色・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成